



# えり高進路だより

北海道えりも高等学校

進路指導部 第4号

発行：令和7年12月25日

文責：川端 真莉亜

## 【速報】令和7年度大学入学共通テスト出願者数増加



今年度の共通テストは1月17日（土）、18日（日）に実施されます。出願者数は491,272人（10月3日（金）時点）と、昨年度より6,000人近く増加しています。現役生の出願は減少している一方、既卒生の出願が大幅に増加しています。既卒生は共通テストを1度経験しているため、得点の安定性が高い可能性があります。そのため、例年以上に戦略的な分析や学習が求められます。えりも高校からは複数名受験します。時間を有効に使いながら試験終了まで頑張りましょう。

## 自分のレンズを覗いてみよう 🔍

これから冬休みが始まります。みなさんはこの期間をどのように使いますか。自分の進路について考える時間を作ってみませんか。進路面談等していると「自分は何に興味があるのかわからない」「何にも関心がない」とよく耳にします。実は自分の興味・関心のあるものに気づいていないだけかもしれません。そこで自身の「レンズ」について考えてみませんか。



Q.右上の写真は札幌市のイルミネーションの写真です。皆さんはどのように街で光るイルミネーションを見たときに何を思うでしょう。難しいと思う人は下の例を参考にしてみてください。

- ①「イルミネーションの由来や始まりは何だろう。」
- ②「家でイルミネーションを飾るとき、どんなデザインや創意工夫ができるだろう。」
- ③「イルミネーションの照明面積を最大にするためにはどのように並べると良いだろう。」
- ④「LEDライトは従来の電球とどのように違うのだろう。」

当てはまるものはありましたか。実は、①は「社会科的視点」、②は「家庭的視点」、③は「理科的視点」、④は「理科的視点」をもとに考えられた視点です。何か物事を考えるとき、無意識にこのような特定のレンズで見ていることがあります。このレンズを通して自分は何に興味や関心があるのか考えることができます。自分の興味や関心を理解することは、進路を決める中で1つの基準となります。

1・2年生の皆さんは自分のレンズを探し、自分はどのような分野に興味・関心があるのか考えてみましょう。3年生の皆さんは自分のレンズだけではなく、他の人のレンズを覗きながら考えの幅を広げてみませんか。